

令和9年度 かながわコミュニティカレッジ 講座企画提案・講座実施団体の募集案内

あなたの団体の活動を、
講座にして多くの人に届けてみませんか
～団体の活動を知ってもらい、団体の力に～

募集内容 令和9年度かながわコミュニティカレッジ講座企画提案を募集しています。採用された場合は、実際に講座を実施していただきます。

応募資格 本案内で定める要件を満たした講座を、適切に実施できる法人、任意団体、教育機関等（募集案内13ページ参照）

募集期間 令和8年10月1日(木)～10月31日(土)17時締切

説明会 会場 かながわ県民センター11階
かながわコミュニティカレッジ講義室 1



講座企画
提案募集
ホームページ

- 日時
- ① 令和8年9月29日(火) 14～15時
 - ② 令和8年9月29日(火) 19～20時
 - ③ 令和8年10月6日(火) 14～15時
 - ④ 令和8年10月6日(火) 19～20時

説明会の内容はすべての回で同じです。
説明会に参加しなくてもご応募いただけます。
説明会は予約なしで参加できます。

かながわコミュニティカレッジなら、
県の事業として講座を開催できます。
県が受講生募集や講座開催をサポートします。

※ 本事業に関する令和9年度予算の成立が必要です。不成立の場合、中止となります。

1 かながわコミュニティカレッジとは

- ✦ かながわコミュニティカレッジでは、「誰もが自らの力を発揮して活躍できる社会」を目指し、皆さんから提案された企画を中心に多彩な講座を開催しています。
- ✦ かながわコミュニティカレッジの詳細は次のURL・2次元コードをご参照ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u3x/komikare/index.html>



どんな講座を募集しているの？

- 地域の課題解決や活性化に取り組む人材・組織を育成する講座の提案を募集しています。
- 令和9年4月(予定)に提案が採用された場合、講座を実施していただきます。



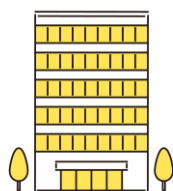
受講対象は？

- 県内でボランティアやNPO等として活動を予定している人
- 県内でボランティアやNPO等として活動をしている人
- 神奈川県に在住・在勤・在学している人



講座の開催時期は？

- 講座の日程は、令和9年7月上旬から令和10年3月上旬までの期間内で設定してください。
- 開催時間は、9時半から20時の間で設定してください。



講座の開催場所は？

- かながわ県民センター 講義室1(定員40名)、講義室2(定員48名)を無料で利用できます。



カリキュラムは？

- 座学だけではなく、ワークショップやグループワーク、現地実習を織り交ぜた、実践につながるカリキュラムが多いのが、かながわコミュニティカレッジの特徴です。
- Zoomを使ったオンライン講座も実施できます。

あなたの団体の知見を、地域を担う人材の育成に。
ぜひ、講座をご提案ください。

2 講座を開催すると、団体にどんなメリットがあるの？

📌 団体の活動を知ってもらい、団体の力に

- ・「かながわコミュニティカレッジ」の名称で、神奈川県の実業として講座を開催できます。
- ・講座を実施することで、団体の活動の認知度向上、理解促進につながります。
- ・講座を通じた発信や受講生との出会いが、仲間づくりや団体の強化につながります。

講座が、団体を知ってもらうきっかけに

① 県ホームページ
② 講座募集チラシ

かながわ
コミュニティカレッジ
〇〇〇〇講座

【講座実施団体】
△△の会

△△の会
ホームページ

かながわ
コミュニティカレッジ
〇〇〇〇講座

を開催します。



主催講座(P11参照)に採用されると、県や市町村機関、市民活動支援施設などに1,000部以上(予定)チラシが配架されます。

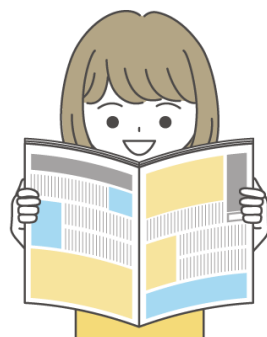
📌 県とコミカレ事務局(P9)が受講生募集・講座開催をサポート

- ・県のたより(発行部数258万部)や県のホームページなどで受講生募集を支援します。
- ・講座内容や運営などについて、改善の助言や支援が受けられます。

かながわ 県のたより

かながわ
コミュニティカレッジ
〇〇〇〇講座

- ・定員が30名以上であること、募集定員を超えた場合、抽選で決定することなどが掲載の要件となっています。
- ・やむを得ず掲載できないことがあります。



あなたの団体の知見を、地域を担う人材の育成に。
P5以降で、募集している講座を詳しくご紹介いたします。

目次

I 講座の企画提案について

- | | | |
|---|------------|------|
| 1 | 募集している講座 | 5ページ |
| 2 | 提案できる講座の要件 | 7ページ |

II 役割分担・スケジュール・講座の種類

- | | | |
|---|-----------------------------|-------|
| 3 | 講座開催の役割分担 | 9ページ |
| 4 | スケジュール／講座の企画提案から実施までの流れ(予定) | 10ページ |
| 5 | 主催講座とは／連携講座とは | 11ページ |

III 応募方法

- | | | |
|----|----------|-------|
| 6 | 応募資格 | 13ページ |
| 7 | 募集期間 | 13ページ |
| 8 | 提出書類 | 14ページ |
| 9 | 応募書類の提出先 | 14ページ |
| 10 | 問合せ先 | 14ページ |

【参考】

- | | |
|-----------------|-------|
| 令和7年度に実施された主催講座 | 15ページ |
| 令和7年度に実施された連携講座 | 16ページ |
| 講座企画提案書 記載例 | 17ページ |

I 講座の企画提案について

1 募集している講座

かながわコミュニティカレッジ

誰もが自らの力を発揮して活躍できる社会を目指して



(1) かながわコミュニティカレッジのメインテーマ

「誰もが自らの力を発揮して活躍できる社会を目指して」

(2) メインテーマの背景と目的

神奈川県を取り巻く社会環境は、超高齢社会や本格的な人口減少社会の到来、激甚化する気候変動や災害、犯罪の脅威、将来への不確実性の高まりなど、大きく変化しています。

人材不足が懸念される中、社会課題は一層複雑化しており、多様な主体がそれぞれの強みを生かした協働・連携を進めていくことが求められています。

社会課題の解決やコミュニティの担い手として、住民やボランティア、団体（町内会、自治会、NPO等）による地域活動が多彩な参加の在り方により展開されることが必要で、多くの県民による積極的な参加とネットワーク形成が不可欠です。また、個人の受け皿となる団体自身も、多様な価値観のもと組織の在り方の変容を求められています。

こうした中、かながわコミュニティカレッジは、地域課題の解決や活性化に取り組む人材を育成するため、県民の学びと連携の場を提供します。

講座を通して課題を認識し、多様な取組が重なり合い地域社会にどのような効果をもたらすかを学び、誰もが自らの力を発揮して活躍できる社会づくりに貢献する人材育成を目指します。

(3) 講座の分野

次の①から⑦の分野について講座を募集します。複数の分野を組み合わせた講座の提案でも構いません。潜在的なニーズがあり7つの分野に該当しない新たな講座については、「⑧その他」として提案してください。

- | | | |
|----------------|--------------|----------|
| ① 地域のつながり・支え合い | ② 災害救援・減災・防災 | |
| ③ 団体運営・ICT活用 | ④ 保健・医療・福祉 | ⑤ 子ども・若者 |
| ⑥ 人権 | ⑦ 環境 | ⑧ その他 |

(4) 明示事項

提出いただく「令和9年度かながわコミュニティカレッジ講座企画提案書」の「6 想定する主な受講者層」欄に、対象とする受講者層を明示するとともに、「5 講座のねらいと期待される効果」の(3)に講座で得た知識やスキル等が地域課題への取り組みや地域づくりにどのように活かされるかを明示してください。

(5) 考慮事項

次の事項について十分考慮してください。

- ア ワークショップやグループワーク、活動現場を体験できる現地実習、社会調査の活用など実践的なカリキュラムを取り入れること。
- イ メインテーマの趣旨を踏まえ、「多世代」「地域での助け合い」「地域活動への参加」などの要素を盛り込むこと。
- ウ 「多様な背景を持った人が生きやすい社会を目指す」視点を取り入れること。
- エ 学んだことを次の活動に結びつける、「活動の場」や機会を紹介すること。
- オ 県民ニーズを的確に把握し、複数の講座を提案する場合は、「入門(基礎、初級)講座」と「専門(実践、上級)講座」を組み合わせるなど、体系的な学びが継続できるよう配慮すること。

(6) 受講機会の確保

- ア 受講機会を広く確保するため、動画配信の実施を提案することもできます。
- イ かながわ県民活動サポートセンターだけでなく、県内各地域で講座開催することもできます。

(7) 県として企画提案を特に求めている講座

ア 分野②「災害救援・減災・防災」

昨今の頻発・激甚化する災害に備え、災害ボランティアやコーディネーターを県内に広く育成することが急務であると考えられるため、次表の講座を特に募集しています。

a	(講座名の例) 災害ボランティア入門講座	災害ボランティア活動を新たに始めたい人を対象に、基本的な活動内容や活動にあたっての留意事項等を学べる講座
b	(講座名の例) 災害ボランティアコーディネーター基礎講座	災害時に支援を必要とする方とボランティアをつなぐ、災害ボランティアコーディネーターについて学ぶことを目的とした講座

イ 分野③「団体運営・ICT活用」

課題解決の担い手として、多様な社会参加方法がある中で、その選択肢の一つとしてのNPOについて、個人や各団体が使命に沿った運営ができるよう支援するため、次表の講座を特に募集しています。

a	(講座名の例) NPOの始め方・入門講座	社会課題の解決に向けて活動を始めたい個人や団体を対象に、個人での活動、任意団体、NPO法人など、活動の目的や段階に応じた様々な始め方・組織のあり方を紹介する入門講座。 (NPO法人を選択する場合に必要な基礎的な知識や設立のポイントについても学ぶ)
b	(講座名の例) NPO会計講座	NPO法人のスタッフや経営者を対象にした実践的な講座(運営、経理、税務・法務、資金調達、広報・情報発信、生成AI活用等の分野のいずれか、または複数の分野を組み合わせたもの)

ウ ボランティア活動未経験者向け講座

地域活動への参加意欲を育むため、ボランティア活動未経験者向けの講座を募集しています。

2 提案できる講座の要件

次の(1)から(6)の要件に合致し、かつ、5ページ「1 募集している講座」に基づき、講座を企画し提案してください。

(1) 基本要件

- ア 多くの県民に対して地域活動等への関心を喚起する内容、あるいは既に活動している人の学習ニーズに沿った内容であること。
- イ 受講生に対し、ボランティア募集やイベント情報など、地域活動への参加(講座実施団体の活動への参加を含む)を促す情報提供等を行うこと。
また、講座が修了した後も、受講生への情報提供や相談などフォローアップを行う体制をとること。
- ウ 営利目的の講座、資格取得や就職を目的とする講座、学びのみで活動につながらない講座や高額な教材等の販売を伴う講座は開催しないこと。

(2) 受講対象者

- ・ 県内でボランティアやNPO等として活動を予定している人
- ・ 県内でボランティアやNPO等として活動をしている人
- ・ 神奈川県に在住・在勤・在学している人

受講生を募集する際、年齢・性別・居住地域等を条件にすることはできません。

「主な対象者」として受講の前提となる知識や活動経験等を例示することは構いません。

(3) 開催時期・開催時間

- 講座の日程は、令和9年7月上旬から令和10年3月上旬までの期間内で設定してください。
- 提案の時点では概ねの時期をご提示いただき、正式な日程は令和9年4月に運營業務受託者と調整いただくこともできます。
- 開催時間は、9時30分から20時の間で設定してください。
- 1講座は概ね3か月以内、原則として週1回のペースで、できるだけ同じ曜日・時間で組んでください。

(4) 開催場所・定員・オンライン講座

- かながわ県民センター11階の講義室1（定員40名）、講義室2（定員48名）を無料で利用できます。
- それ以外の県内の会場等で開催する場合（現地見学や実習などをカリキュラムに織り込む場合も含みます）は、提案団体にて手配してください。提案の採用・不採用が決定するのは令和9年4月（予定）（P10参照）になります。不採用の場合の会場キャンセル料等は提案団体の負担になりますのでご注意ください。
- 講義室以外の会場の場合、空調・音響等の環境整備は講座実施団体が行います。
- Zoomなどを使ったオンライン講座を開催する場合、オンライン講座実施に当たり、必要な機材等は講座実施団体をご準備ください。貸出可能な物品については、コミカレ事務局（P9参照）までお問合せください。
- オンライン講座の配信場所については、かながわコミュニティカレッジ講義室が使用可能です。また、講座実施団体の活動拠点等からの配信も可能です。

(5) 受講料・収入・講座のコマ数

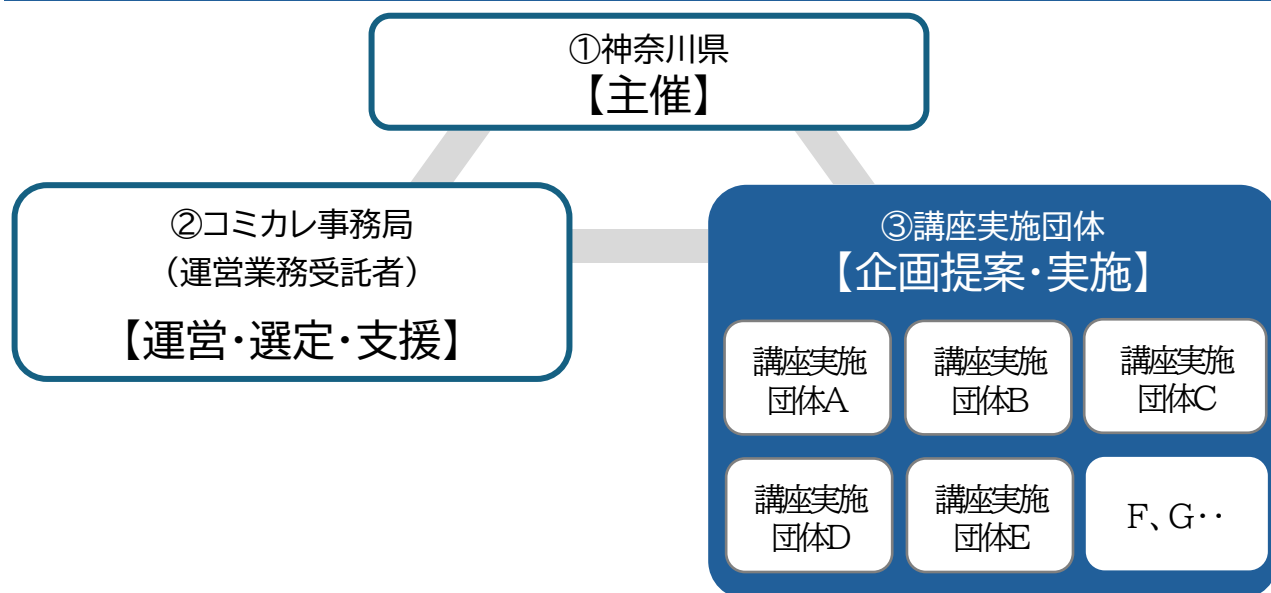
「P11 5 主催講座とは／連携講座とは」をご参照ください。

(6) その他

- ア 楽器演奏・ダンス等、大きな音の発生する講座をかながわコミュニティカレッジ講義室で行うことはできません。
- イ 個人情報の取扱いについては、関連法令等の定めるところにより必要な措置を講じていただきます。
- ウ 障がいのある受講生から受講にあたって必要な配慮を求められた場合は、合理的な配慮をお願いいたします。実施にあたっては、コミカレ事務局と調整を行ってください。
- エ かながわコミュニティカレッジ事業の改善に資するため、各講座の記録（主催講座については写真等の撮影を含む）及び評価等を実施しますのでご了承ください。

Ⅱ 役割分担・スケジュール・講座の種類

3 講座開催の役割分担



① 神奈川県

- ・ かながわコミュニティカレッジの主催者です。
- ・ かながわコミュニティカレッジ事務局（以下、「コミカレ事務局」といいます）に業務を委託しています。
- ・ 講座企画提案を募集します。

② コミカレ事務局(運営業務受託者) 毎年度プロポーザル方式で決定。

- ・ 県がプロポーザル方式でコミカレ事務局（運営業務受託者）を選定します。
- ・ 県より委託を受け、かながわコミュニティカレッジを運営します。
- ・ 応募があった講座企画提案の中から、実施する講座を選定します。
- ・ 講座内容や運営など、改善の助言や支援を講座実施団体に行います。

③ 講座実施団体(講座企画提案団体)

- ・ 講座を実施する団体です。
- ・ 県へ講座企画提案書を提出します。
- ・ コミカレ事務局が選定し、実施が決定した講座のみ開催されます。
- ・ 講座企画提案を提出いただいても、コミカレ事務局による講座選定から漏れた場合(講座企画提案が不採用となった場合)は、講座を開催することはできません。あらかじめご了承ください。

(参考)令和8年度の選定数	応募数	選定数
主催講座(11ページ参照)	25講座	20講座
連携講座(11ページ参照)	13講座	10講座

4 スケジュール／講座の企画提案から実施までの流れ(予定)

	時期	講座企画提案団体	「県」または 「コミカレ事務局」 (運營業務受託者・受託希望者)
Step 1 企画・ 提案	令和8年10月1日(木) ～ <u>令和8年10月31日(土)</u> <u>17時締切</u>	講座企画提案書を県へ提出。 令和9年度にP9②の「コミカレ事務局」になることを希望する団体(運營業務受託希望者)に、提案書の写しを交付することに同意していただく必要があります。	
Step 2 問合せ・ 調整	令和8年10月～ 令和9年3月	- 講座企画提案書について、県や運營業務受託希望者からお問合せをする場合があります。その際は、ご対応をお願いいたします。 - 内容の調整や変更を求められた場合は、可能な範囲で応じてください。	- 県がプロポーザル方式で運營業務受託希望者を募集。(エントリーは令和9年1月20日締切予定) - 県が講座企画提案書の写しを運營業務受託希望者に提供。 - 運營業務受託希望者は講座企画提案書をもとに講座開催計画書(どの講座企画提案書を採用するか等を記載したもの)を作成。 - 県が令和9年度運營業務受託者(かながわコミュニティカレッジ事務局を運営する団体)を決定。
Step 3 採用・ 不採用	令和9年4月(予定)	- 令和9年度運營業務受託者(コミカレ事務局を運営する団体)から、<u>講座企画提案書の採用・不採用の通知が届きます。</u> - 講座企画提案団体と運營業務受託者との間で、講座の実施について協議・調整。	
Step 4 講座 実施	令和9年7月以降	講座の実施	

※令和9年4月以降、受講生募集・講座開催を、コミカレ事務局がサポート。

5 主催講座とは／連携講座とは

- ・ かながわコミュニティカレッジでは、「主催講座」または「連携講座」のいずれかの方法で、講座を実施します。次表を参考に、「主催講座」として実施することを希望するか、「連携講座」として実施することを希望するかを選択し、提案してください。
- ・ 次表は変更になる可能性があります。変更になった場合はホームページにて、お知らせいたします。
- ・ 最終的にどちらの講座として実施するかは、運營業務受託者(受託希望者)と講座実施団体が個別に協議のうえ、決定します。
- ・ 「主催講座」「連携講座」いずれでも実施できる場合、両方希望していただいて構いません。コミカレ事務局や講座実施団体の定義については9ページをご参照ください。

	主催講座	連携講座
講座の主催	神奈川県	講座実施団体
講座の実施	講座実施団体	
コマ数	1コマは90分以上180分未満(180分は2コマ)。1講座は1コマ以上24コマ以内。 コマ数は受講生の負担を考慮しながら作成してください。	
受講料	(1コマあたりの金額) × (講座コマ数) が受講料になります。 全日程の受講が前提となるため、1回〇円といった各回での募集はできません。 ・ <u>1コマあたり900円(固定)</u>	・ <u>1コマあたり2,000円以内で講座実施団体が任意に設定できます。</u> ・ 無料で開催したり、実費のみ徴収することもできます。 ・ 900円を超える場合、経費見積書及び決算書の提出が必要です。
受講料の徴収	県が行います。受講料は<u>e-kanagawa電子納付(コンビニ・クレジットカード・スマートフォン決済等)</u>または<u>金融機関の窓口で支払うことができます。</u> 【e-kanagawa電子納付HP】 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/fz7/shinsei/denshinoufu.html	講座実施団体が直接徴収します。
収入	講座開催に係る費用は、 <u>講座実施団体とコミカレ事務局との間で締結された、経費や責任・業務分担について定めた契約書に基づき、コミカレ事務局から支払われます。</u>	徴収した受講料を講座実施団体の収入にできます。

	主催講座	連携講座
経費見積書／ 決算書の提出	- 講座の企画実施に必要な経費【講師謝礼、事務経費、印刷費（カラー印刷代含む）、通信費、コミカレ事務局との打合せ経費など】を適切に積算し、経費見積書を作成してください。 <u>講座開催決定後、提案された経費見積額を基に講座実施団体とコミカレ事務局が協議・調整し、両者の間で受託契約を結ぶことにより経費と責任を明らかにしたうえで、受託料等をコミカレ事務局からお支払いします。</u> - コミカレ事務局が県に提出します。	1コマ900円を超える場合、経費見積書及び決算書をコミカレ事務局に提出する必要があります。 - 講座の企画実施に必要な経費【講師謝礼、事務経費、印刷費（カラー印刷代含む）、通信費、広報費、受講生管理経費、コミカレ事務局との打合せ経費など】を適切に積算し経費見積書を作成してください。 - コミカレ事務局が県に写しを提出します。
コミカレ 事務局から 受けられる 支援	<u>かながわ県民センターの講義室・機材の貸与、広報支援、受講生の決定・通知から、当日の講座運営、実施後のフォローに至るまで多様な業務について支援を受けられます。</u>	<u>かながわ県民センターの講義室・機材の貸与、広報支援が支援の中心となります。</u> - その他の講座運営に関する業務は、各講座実施団体の経費と責任で行います。
広報	- コミカレ事務局が講座実施団体との調整のもと、講座のチラシを作成／配布します。原則、県ホームページでもチラシを掲載します。 <u>県や市町村機関、市民活動支援施設などに1,000部以上(予定)チラシが配架されます。</u>	講座実施団体を中心となって行います。県ホームページへのチラシ掲載を依頼することができます。
県のたより	- 定員が30名以上であること、募集定員を超えた場合、抽選で決定することなどが掲載の要件となっています。締切日以降に受講生を追加募集する場合は、先着順で決定しても構いません。 - 要件を満たしていれば、受講生募集について、県のたより(発行部数258万部)に掲載を希望することができます。 - 掲載は主催講座が優先され、希望に添えない場合があります。	

	主催講座	連携講座
定員	会場を講義室にする場合、講義室1は40名、講義室2は48名まで定員を自由に設定できます。	
	- 申込者が開講日の10日前までに募集定員の3割に満たない場合、原則として開催は中止になります。 - あらかじめご了承のうえ、募集定員を設定してください。	開講する最少人数を任意で設定できます。
講座申込み・問合せ窓口	コミカレ事務局	講座実施団体
県民からの情報公開請求	経費見積書・決算書の開示請求があった場合は、コミカレ事務局がその求めに応じ開示します。	
令和8年度の応募数と選定数(採用数)	応募数25講座 うち20講座選定	応募数13講座 うち10講座選定
その他	公共交通機関の遅延・運休または自然災害等、やむを得ない事情により、通常の講座開講が困難と判断される状況となった場合、コミカレ事務局と協議の上、講座内容等について再検討いただくことがございますので、ご注意ください。	

Ⅲ 応募方法

6 応募資格

本案内で定める要件（P 7 「2 提案できる講座の要件」、P 11 「5 主催講座とは／連携講座とは」をご参照ください）を満たした講座を、適切に実施できる法人、任意団体、教育機関等

7 募集期間

令和8年10月1日(木)～ 10月31日(土)17時締切

8 提出書類

(1) 令和9年度かながわコミュニティカレッジ講座企画提案書(第1号様式)

次のURLに第1号様式を掲載しています。

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u3x/komikare/koubo/komikare_r9kouzabosyuu.html

Word形式で提出してください。

昨年度のものではなく、令和9年度の様式を使用してください。



(2) 直近の事業報告書及び会計報告書等

(講座企画提案団体の活動状況が分かる書類)

(3) 法人(団体)の定款または規約の写し

- 提出いただいた書類は、返却いたしません。
- 提出いただいた書類は、個人情報の保護に関する法律に基づき、神奈川県及びコミカレ事務局において、適切かつ厳重に管理し、本事業の目的のみに利用します。原則として第三者への開示は行いませんが、令和9年度運營業務受託者の選定にあたり必要な範囲で、運營業務受託希望者に提供します。
- e-kanagawa電子申請システムのデータ容量制限が10MBとなっております。ご注意ください。

9 応募書類の提出先

募集期間内に、以下のURLから「e-kanagawa 電子申請システム」により、「8 提出書類」の(1)(2)(3)をご提出ください。

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail?tempSeq=132132



／
こちらから応募フォームにログインできます！
＼

申込完了後、登録したメールアドレスに、件名が

「【神奈川県】講座企画提案書応募完了のお知らせ」というメールが届きます。

10 問合せ先

- 講座企画提案に関するご質問
- e-kanagawa電子申請システムによる提出ができない
その他、講座企画提案に関するご相談がありましたら、次の問合せ先にご連絡ください。

【問合せ先】

かながわ県民活動サポートセンター ボランティア活動サポート課

電話:045-312-1121(内線2824) FAX:045-312-4810

問合せ時間:平日 8時30分～17時15分

(来訪による相談をご希望の際には、事前に電話でご連絡ください。)

令和7年度に実施された「主催講座」

番号	分野名	講座名	講座実施団体	回数	コマ数 a	受講料 (円) a×900	募集期間	開催曜日 時間帯	募集 定員 (人)	オンライン講座 の実施 (オンラインのみ は○、ハイブリッ ド形式は△)	アーカイ ブ配信 の実施	備考
1	地域の つながり ・支え合い	地域でつながるあなたの第一歩 “ウェルビーイングの始め方”～コ ミュニティ活動から見つける新しい 自分～	かながわりンク ～人 と人を笑顔でつなげ る～	3	5	4,500	6/20～8/13	土曜日 13:30～16:40 水曜日 19:00～20:30	30			
2		人と人のつながりづくり、拠点づく り 地域を豊かにするための連続 講座	NPO法人全員参加に よる地域未来創造機 構	4	4	3,600	7/19～9/16	金曜日 10:00～12:30	30			第3回ボランティア体験はおおむね 120分(体験場所による)、交通費は 自己負担
3		共助の地域づくりを推進する講座	これからの福祉を考 える会・横浜	5	7	6,300	7/19～9/24	水曜日 13:30～16:40	30			第2回10/29、第3回11/12、 第4回11/26は13:30～16:00
4		シニアライフアドバイザー養成講座	一般社団法人神奈川 健康生きがいづくり アドバイザー協議会	5	10	9,000	8/20～11/12	土曜日 13:30～16:40	30			第4回1/10は13:30～17:00 第5回1/17は13:30～16:45 現地見学の交通費は自己負担
5		～植物が繁ぐ、ご近所同士の助け 合い～ 園芸療法ボランティア入 門講座	NPO法人日本園芸療 法研修会	5	10	9,000	10/21～12/16	水曜日 13:30～16:40	40			園芸実習材料費として3,000円別途 徴収
6		地域活動リーダー養成講座 ～多 様化する時代を生き抜くために、 「近助力」で育む地域活動の魅力～	輝楽理庵(きらりあ ん)	4	8	7,200	10/21～12/25	土曜日 13:30～16:45	30			
7	災害救援 ・減災・防災	防災教育ファシリテーター養成講 座(初級編)	認定NPO法人かなが わ311ネットワーク	4	8	7,200	5/20～6/19	土曜日 9:30～12:30	30			
8		災害ボランティア入門講座	一般社団法人ソー シャルコーディネー トかながわ	2	2	1,800	5/20～7/2	水曜日 19:00～20:30	30	○	○	
9		災害ボランティアコーディネーター 基礎講座	NPO法人神奈川災害 ボランティアネット ワーク	3	5	4,500	6/20～8/7	土曜日 13:30～16:40	30			第3回9/13は13:30～16:10
10		多様性の視点から災害と避難所・ 避難生活を考える<横須賀会場>	NPO法人神奈川災害 ボランティアネット ワーク	2	4	3,600	7/19～10/9	土曜日 13:00～16:10	30			
11		ボランタリー団体の広報力を高め るための基礎講座	認定特定非営利活動 法人森ノオト	3	3	2,700	6/20～8/12	木曜日 10:30～12:00	30			
12	団体運営・ ICT活用	NPO会計講座	一般社団法人ソー シャルコーディネー トかながわ／協力: NPO法人税理士によ る公益活動サポートセ ンター	4	6	5,400	6/20～8/20	水曜日 13:30～16:30	30	○	○	第1回9/10、第4回10/1は 13:30～16:00
13		新聞記者に学ぶ人に伝わる文章を 書く技術(NPO活動・地域活動向 け)	一般社団法人ソー シャルコーディネー トかながわ	3	3	2,700	7/19～9/25	水曜日 19:00～20:30	40	○	○	
14		新聞記者に学ぶ文章・写真・編集ス キルアップ講座(NPO活動・地域活 動向け)	一般社団法人ソー シャルコーディネー トかながわ	4	5	4,500	8/20～10/30	木曜日 19:00～20:45	30	○	○	第3回12/7は日曜日 13:00～16:10 会場
15		NPO・ボランティア団体の活動と 運営 実務講座	一般社団法人ソー シャルコーディネー トかながわ	4	4	3,600	10/21～1/8	木曜日 18:45～20:15	30	○	○	
16	保健・医療 ・福祉	傾聴講座(入門編) ～人と関わる ボランティア活動に向けてのスタ ート～①	NPO法人シニアライ フセラビー研究所	4	8	7,200	5/20～6/17	火曜日 9:30～12:40	40			
17		傾聴講座(入門編) ～人と関わる ボランティア活動に向けてのスタ ート～②	NPO法人シニアライ フセラビー研究所	4	8	7,200	6/20～8/6	火曜日 9:30～12:40	40			
18		傾聴講座(実践編) ～ボランティ ア活動で良好な関係づくりを～	NPO法人シニアライ フセラビー研究所	4	8	7,200	8/20～10/7	火曜日 9:30～12:40	40			
19		大人の発達障がいとひきこもりを 考える講座	ふわふわの会	4	8	7,200	8/20～10/23	土曜日 13:30～16:40	30			
20	子ども ・若者	発達障がい児地域支援コーデ ィネーター養成講座(基礎編)	NPO法人びな・パー トナーシップ・ひろば	3	6	5,400	5/20～6/18	金曜日・木曜日 9:30～12:40	40			第1回7/4は金曜日
21		こどもまんなか社会の家庭サポ ート講座(妊娠期～学童期)	認定NPO法人びーの びーの	4	8	7,200	6/20～8/19	土曜日 9:30～12:40	30			
22		発達障がい児地域支援コーデ ィネーター養成講座(実践編)	NPO法人びな・パー トナーシップ・ひろば	6	12	10,800	7/19～9/11	水曜日・木曜日 9:30～12:40	40			第1回10/1は水曜日
23		地域で支える、外国につながる子 どもやその家族へのサポーター養 成講座	特定非営利活動法人 光の子どもたちの会	4	7	6,300	8/20～10/16	火曜日 13:30～16:40	30			第2回11/11は会場あーすぶらざ 現地見学の交通費は自己負担 第3回は13:30～16:00
24		外国につながる子どもの学習支援 者ブラッシュアップ講座	特定非営利活動法人 日本語・教科学習支援 ネット	5	10	9,000	10/21～12/18	日曜日 13:00～16:10	30			
25	人権	犯罪被害者支援ボランティア養成 講座(初中級)	公益社団法人神奈川 被害者支援センター	10	20	18,000	5/20～6/19	金曜日 10:00～16:00	30			第1回サポートステーション見学
26		国際人権と多文化共生社会 国際 人権ボランティア活動を知る	公益社団法人アムネ スティ・インターナシ ョナル日本 人権教育 チーム	2	4	3,600	8/20～10/28	土曜日 13:30～16:40	30			

令和7年度に実施された「連携講座」

番号	分野名	講座名	講座実施団体	回数	コマ数 a	受講料 (円) a×0～ 2,000	募集期間	開催曜日 時間帯	募集 定員 (人)	オンライン講座 の実施 (オンラインのみ は○、ハイブリッ ド形式は△)	アーカイ ブ配信 の実施	備考
1	地域の つながり ・支え合い	在日ミャンマー人支援の現場から 見つける、私たちの多文化共生社 会	特定非営利活動法人 リンクトゥミャンマー	4	4	4,000	5/20～7/18	金曜日 14:00～15:30	30			
2	災害救援 ・減災・防災	防災教育ファシリテーター養成講 座(上級編)	認定NPO法人かなが わ311ネットワーク	4	8	8,000	8/20～10/2	土曜日 9:30～12:30	20			現地まち歩き交通費は自己負担
3	保健・医療 ・福祉	回想法リーダー養成講座	回想法プランニング	4	8	12,000	10/21～12/19	金曜日 13:00～16:30	30	△		・申込み時に会場かオンラインを選択 する。 ・会場 第3回は13:00～17:00、 第4回は13:00～16:50
		回想法リーダー養成講座 オンライン		5	10	8,000	10/21～12/19	金曜日 13:30～16:30	10			・会場・オンラインの各締切は12/19 17:00まで ※第1回～第4回のワークをオンライ ン受講の方はできなかったため、第5 回でワークを実施する。
4	子ども ・若者	外国につながる子どもの学習ボラ ンティア入門講座	特定非営利活動法人 日本語・教科学習支援 ネット	4	4	8,000	5/20～6/27	日曜日 10:00～12:00	30			締切は6/27 17:00まで
5		理科推進スタッフ体験講座	認定NPO法人おもし ろ科学たんけん工房	6	12	3,000	8/20～9/27	会場は水曜日、日 曜日、他 10:00～16:00	30			会場は10/15(水)、11/23(日)、 2/4(水) 実習は別途1回あたり 500円～1,200円の参加費あり。 交通費は自己負担
6		子どもシェルターのボランティア養 成講座	認定特定非営利活動 法人子どもセンター てんぼ	4	4	4,000	10/21～1/17	土曜日 9:20～12:00	30			
7	人権	犯罪被害者支援ボランティア養成 講座(上級)	公益社団法人神奈川 被害者支援センター	10	20	無料	8/20～9/26	金曜日 10:00～16:00	30			裁判所見学時の交通費は自己負担
8	環境	野生動物リハビリテーター養成講 座(講義編)	NPO法人野生動物救 護獣医師協会神奈川 支部	2	6	6,000	8/20～10/30	日曜日 10:00～16:30	30			別途テキスト資料2,000円

令和8年度の採用された講座は次のURLまたは2次元コードをご参照ください。
<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/20701/r8reaflet.pdf>



ページ設定・フォントや文字サイズは変更しないでください。記載欄が足りない場合は行を追加してください。
 □のチェックボックスはクリックすると ✓ が付きます。お手数ですが、意図しない ✓ がないか、ご確認ください。
 ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。記載例は募集案内のP17をご参照ください。

(第1号様式)

記載例

令和9年度かながわコミュニティカレッジ講座企画提案書

令和8年10月20日

かながわ県民活動サポートセンター所長 様

郵便番号	221-0835
所在地 【注1】	横浜市神奈川区鶴屋町 2-0-0 □□ビル2階
法人(団体)名 【注2】	〇〇〇〇の会
代表者 職・氏名	代表 〇〇 〇〇
【注1】主たる事務所所在地をご記載ください。 【注2】法人(団体)名は定款・規約にあわせ、略さず正式名をご記載ください。 【注3】複数の講座を提案する場合は、企画提案書を1講座ごとに作成してください。	

下記のとおり講座企画を提案します。

講座企画提案情報の提供について		
☒	この提案書と添付資料を、令和9年度かながわコミュニティカレッジ事務局 運營業務受託希望者に対し閲覧させ、写しを交付することに同意します。 <u>左の□に必ず✓をしてください。クリックすると✓が付きます。</u>	
講座企画提案団体の連絡先等		
企画提案内容 の確認・調整の 連絡先 【注4】	ふりがな	かながわ たろう
	氏名	神奈川 太郎
	住所	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-0-0 □□ビル 2 階
	連絡先電話番号	045-〇〇〇-〇〇〇〇
	FAX 番号	045-〇〇〇-△△△△
	メールアドレス	〇〇〇@〇〇〇.or.jp
ホームページURL	https://www.〇〇〇.or.jp	
【注4】提案内容の確認・調整を行うことがあります。 <u>必ず、連絡がとれる電話番号・メールアドレス等をご記載ください。</u>		

ページ設定・フォントや文字サイズは変更しないでください。記載欄が足りない場合は行を追加してください。
□のチェックボックスをクリックすると ✓ がつきます。お手数ですが、意図しない ✓ がないか、ご確認ください。
ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。記載例は募集案内のP17をご参照ください。

1 講座の名称			
講座名	〇〇〇〇ボランティア養成講座	講座名の 文字数	14文字
副題(任意)		副題の 文字数	〇文字

【注5】

- ・ 講座名は 30 文字以内としてください。
- ・ 副題は必須ではありません。副題を設ける場合は、30 文字以内としてください。
- ・ 簡潔で一目でどのような講座かわかる講座名としてください。
- ・ 講座企画提案書の提出後は原則、変更はできません。
- ・ 講座名や副題に「 」 < > () 以外の記号を使用することはできません。
- ・ (1)(2)・・は使用できますが、機種依存文字①②・・といったマル数字は使用できません。「～」についても、使用できませんので、ご注意ください。

2 講座の区分・分野（それぞれ複数選択可）			
区 分 【注6】	主催講座 ☒ 連携講座 ☐	分 野 【注7】	① 地域のつながり・支え合い ☐
			② 災害救援・減災・防災 ☐
			③ 団体運営・ICT 活用 ☐
			④ 保健・医療・福祉 ☒
			⑤ 子ども・若者 ☐
			⑥ 人権 ☐
			⑦ 環境 ☐
			⑧ その他 ☐

【注6】「主催講座」「連携講座」いずれでも実施できる場合は、両方を希望していただいで構いません。（募集案内 P11 「5 主催講座とは／連携講座とは」参照）

【注7】該当する分野の□に必ず✓をしてください。クリックすると✓が付きます。
複数の分野に✓をつけることもできます。

ページ設定・フォントや文字サイズは変更しないでください。記載欄が足りない場合は行を追加してください。
□のチェックボックスをクリックすると ✓ がつきます。お手数ですが、意図しない ✓ がないか、ご確認ください。
ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。記載例は募集案内のP17をご参照ください。

3 講座企画提案団体(講座実施団体)

団体名称	〇〇〇〇の会
------	--------

4 講座概要

各回の講座で何を学び、何を体験するのかがわかるように、講座内容の概要をご記載ください。

(回ごとに分けてご記載ください)

【第1回】

【第2回】

ページ設定・フォントや文字サイズは変更しないでください。記載欄が足りない場合は行を追加してください。
☐のチェックボックスはクリックすると ✓ がつきます。お手数ですが、意図しない ✓ がないか、ご確認ください。
ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。記載例は募集案内のP17をご参照ください。

5 講座のねらいと期待される効果

- (1) この講座を通じて、受講生にどのような学びや体験を届けたいですか。
4の講座概要との関連がわかるように、ご記載ください。

- (2) この講座を通じて、受講生にどのような一歩を踏み出してほしいですか。
4の講座概要との関連がわかるように、ご記載ください。

ページ設定・フォントや文字サイズは変更しないでください。記載欄が足りない場合は行を追加してください。
☐のチェックボックスはクリックすると ✓ がつきます。お手数ですが、意図しない ✓ がないか、ご確認ください。
ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。記載例は募集案内のP17をご参照ください。

(3) この講座を通じて、地域や社会にどのような変化を生み出したいですか。
講座で得た知識やスキル等が地域課題への取り組みや地域づくりにどのように活かされるか、4の講座概要との関連がわかるように、ご記載ください。

6 想定する主な受講者層

講座は

- ① 県内でボランティアや NPO 等として活動を予定している人
- ② 県内でボランティアや NPO 等として活動をしている人
- ③ 神奈川県に在住・在勤・在学している人

を対象にしていますが、その中で「特に」どのような方に届けたいですか。

受講の前提となる知識の有無、活動経験の有無など「こんな方に受講してほしい」という具体的なイメージを、箇条書きでご記載ください。

ただし、受講生を募集する際、年齢・性別・居住地域等を条件にすることはできません。

7 講座実施方法・会場

- ・ かながわコミュニティカレッジ講義室1(定員40名)、講義室2(定員48名)(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2かながわ県民センター11階、横浜駅西口・きた西口より徒歩5分)を無料で利用できます。
- ・ 活動体験や現地見学・実習など、必要に応じてかながわコミュニティカレッジ講義室以外の場所を講座実施場所とすることができます。その場合の会場手配、空調・音響等の環境整備は講座実施団体が行います。提案の採用・不採用が決定するのは令和9年4月頃(予定)になります。不採用の場合の会場キャンセル料等は提案団体の負担になりますのでご注意ください。
- ・ オンライン講座も実施することができます。ただし、オンライン講座実施に当たり、必要な機材等は講座実施団体をご用意ください。貸出可能な物品については、コミカレ事務局(P9参照)までお問合せください。
- ・ オンライン講座の配信場所については、かながわコミュニティカレッジ講義室が使用可能です。また、講座実施団体の活動拠点等からの配信も可能です。

希望する講座の実施方法に ☒ を付けてください。クリックすると✓がつきます。	
☐	すべての回を、かながわ県民センターの講義室で実施。
☒	すべての回を、Zoom などを利用してオンラインで実施。 ①オンラインの会議ツール名 (Zoom) ②講座を配信する会場 例：かながわコミュニティカレッジ講義室、講師〇〇氏宅、〇〇会館 (かながわコミュニティカレッジ講義室)
☐	すべての回を、かながわ県民センター以外の、神奈川県内の会場で実施。 (会場名) (会場の住所) (会場を選択した理由)
☐	すべての回を、講義室でもオンラインでも受講できる形で実施。 ≪ハイブリッドで実施≫ ①オンラインの会議ツール名 () ②講座を配信する会場 例：かながわコミュニティカレッジ講義室、講師〇〇氏宅、〇〇会館 ()
☐	回によって、実施方法が異なる。 ➡ 各回の実施方法をご記載ください。 第1回の実施方法 () 第2回の実施方法 () 第3回の実施方法 ()
☐	その他の実施方法 (具体的な方法と、その方法を選択する理由をご記載ください。)

ページ設定・フォントや文字サイズは変更しないでください。記載欄が足りない場合は行を追加してください。
 □のチェックボックスはクリックすると ✓ がつきます。お手数ですが、意図しない ✓ がないか、ご確認ください。
 ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。記載例は募集案内のP17をご参照ください。

8 講座実施計画書(カリキュラム)

【注8】 講座の開催日程は、令和9年7月上旬から令和10年3月上旬までの期間内としてください。提案の時点では概ねの時期(○月第1週・○月上旬等)を記載いただき、正式な日程は令和9年4月に運営業務受託者と調整いただくこともできます。

【注9】 1コマ=90分以上180分未満(180分は2コマ)

コマ数は、①②など丸数字でご記載ください。24コマ以内でご提案ください。

【注10】 講座開催時間は9時30分から20時までの間で設定してください。

【注11】 ワークショップ、グループワーク、ディスカッション、現地実習、社会調査の活用など、受講者が参加・体験・実践する要素がある場合は「○」を記入してください。講義を聴くことを中心とする場合は空欄にしてください。

【注12】 受講生の利便性を考え、1講座は概ね3か月以内、原則として週1回のペースで、できるだけ同じ曜日・時間で開催日程を組んでください。

開催時期 【注8】		令和9年7月上旬～7月下旬			
回数	コマ数 【注9】	月日(曜日)	講座内容 簡条書きまたは簡潔にご記載ください。	実践 【注11】	講師予定者 肩書・氏名を ご記載ください。
		時間【注10】			
1	①	7月○日(土)	・オリエンテーション ・○○の現状と課題について講義		○○○○の会 代表 △△△△
		13:30～16:00			
2	②	7月○日(土)	・○○の現状と活動紹介 ・◇◇についてグループワーク・意見交換	○	・××センター所長 ○○○○ ・NPO 法人◇◇ 調整中
		13:30～16:30			
3	①	7月○日(土)	・○○の演習 ・今後の活動について	○	○○○研究所 理事長 ○○○○
		13:30～16:00			
4					

ページ設定・フォントや文字サイズは変更しないでください。記載欄が足りない場合は行を追加してください。
☐のチェックボックスをクリックすると ✓ がつきます。お手数ですが、意図しない ✓ がないか、ご確認ください。
 ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。記載例は募集案内のP17をご参照ください。

5					
6					
7					
8					
9					
10					
計	④	←コマ数の合計を記載してください。			

ページ設定・フォントや文字サイズは変更しないでください。記載欄が足りない場合は行を追加してください。
☐のチェックボックスはクリックすると ✓ がつきます。お手数ですが、意図しない ✓ がないか、ご確認ください。
ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。記載例は募集案内のPI7をご参照ください。

講師選定のポイント(肩書・専門分野・実績など、講師として適任と考える理由)をご記載ください。

9 講座運営上の工夫

講座資料、カリキュラム、受講生支援、運営体制など、工夫点があればご記載ください。

10 講座の特徴		
あてはまるものに☑ を付けてください。クリックすると✓がつきます。		
ア	ワークショップやグループワーク、活動現場を体験できる現地実習、社会調査の活用など実践的なカリキュラムがある講座である。	☒
イ	メインテーマ「誰もが自らの力を発揮して活躍できる社会を目指して」を踏まえた、「多世代」「地域での助け合い」「地域活動への参加」などの要素が盛り込まれた講座である。	☒
ウ	「多様な背景を持った人が生きやすい社会を目指す」視点を取り入れた講座である。	☒
エ	学んだことを次の活動に結びつける、「活動の場」や機会の紹介が盛り込まれた講座である。	☒
オ	30代以下の受講者が一定数見込まれる講座である。	☐
カ	アーカイブ配信を行うことができる講座である。	☐
キ	すべての回が平日 18 時～20 時の間、もしくは土日祝日の講座である。	☒
ク	Zoom 等によるオンライン開催を一部または全部の回で実施する。	☐
ケ	P6(7)ア a に該当し、災害ボランティアの入門的な講座である。	☐
コ	P6(7)ア b に該当し、災害ボランティアコーディネーターについて学ぶことを目的とした講座である。	☐
サ	P7(7)イ a に該当し、活動の様々な始め方・組織のあり方を紹介する入門的な講座である。	☐
シ	P7(7)イ b に該当し、NPO向けの実践的な講座である。	☐
ス	P7(7)ウに該当し、地域活動への参加意欲を育む、ボランティア活動未経験者向けの講座である。	☐
セ	その他、特筆すべき特徴やアピールポイントがありましたら、簡潔に箇条書きでご記載ください。	

11 講座の定員・コマ数の合計・受講料

「2 講座の区分・分野」で「主催講座」を選択した場合、A、B、D、Eをご記載ください。
 Cの受講料は1コマ900円で固定です。

A 定員	30名
B コマ数の合計	4コマ
C 1コマあたりの受講料	900円（固定）
D 受講料 = $B \times C = B \times 900$ 円	3,600円
E 受講料の他に徴収する実費があれば ご記載ください。	例 ○○の材料費 4,000 円 なし

「2 講座の区分・分野」で「連携講座」を選択した場合、AからFをご記載ください。

A 定員	名
B 最少開講人数	名
C コマ数の合計	コマ
D 1コマあたりの受講料（0円～2,000円）	円
E 受講料 = $C \times D$	円
F 受講料の他に徴収する実費があれば ご記載ください。	例 テキスト代 2,000 円

ページ設定・フォントや文字サイズは変更しないでください。記載欄が足りない場合は行を追加してください。
 □のチェックボックスはクリックすると ✓ がつきます。お手数ですが、意図しない ✓ がないか、ご確認ください。
 ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。記載例は募集案内のP17をご参照ください。

12 経費見積書

募集案内 P29をご参照ください。

支出科目	金額（円）	積算根拠（単価、数量）		
講師謝礼	54,000円	@8,000円×1コマ×1名 @9,000円×2コマ×2名 @10,000円×1コマ×1名 ※公務員は0円		
事務経費	39,000円	スタッフ賃金@1,500円×10H×2名 事務局・講師と打合せ@1,500円×1H×3回×2名		
資料印刷代	6,000円	@5円×40枚×30部		
消耗品費	9,000円	事務用品ほか		
	円	講座開催に必要な経費のみ記載してください。 旅費、現地実習用ボランティア保険料、開催準備費用 なども計上できます。		
	円			
	円			
支出合計(a)	108,000円			
1人・1コマあたり経費 ※1コマは90分以上180分未満(180分は2コマ)				
支出合計 a	受講定員 b	講座コマ数 c	受講生1人当たり 経費 d(=a/b)	1人・コマ当たり 経費 e(=d/c)
108,000円	30人	4コマ	3,600円	900円

13 フォローアップ

講座終了後、受講生に対してどのような支援を行うかについて、ご記載ください。

例 ボランティア募集やイベント情報など、地域活動への参加（講座実施団体の活動への参加を含む）を促す情報提供、相談体制など

14 講座企画提案に関連した最近の活動実績

- ・ 講座のテーマや内容に関連する最近の活動実績をご記載ください。
- ・ 直近の事業報告書及び会計報告書等（提案団体の活動状況が分かる書類）、法人（団体）の定款または規約の写しを添付してください。
- ・ 同種の講座等を実施した事例がある場合は、講座名、開催時期、参加者数などもご記載ください。別紙におまとめいただき、ご提出いただくこともできます。